

美術科学習指導案

授業日時 令和元年 9月2日(月)第 校時
 授業学級 1年C組 男20名 女20名 計40名
 授業会場 (美術) 教室
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 単元名 「題名」

2 主眼

美術作品の題名や題名がつけられた理由を想像することを通して、作家がどのようなことを考え制作したのかを想像する。
 この活動を通して、想像した内容を話し合い共感することで、様々な視点を認めることができるようになる。

3 本時の位置 (全1時間扱い中 第1時)

4 指導上の留意点

- ・題名から鑑賞するという方法が正しい鑑賞方法ではなく、鑑賞方法には様々な方法があることを学ぶようにする。
- ・正解を求める、クイズのようになることのないように、生徒それぞれがどのように思うか、ということが重要であることを机間指導等で伝える。
- ・想像することが出来ない生徒に対し他者の意見を聞きどのように思ったかを問うことで、想像するように促す。

5 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	支援 (・) と評価	時間
導入	1 授業者の作品の題名のつけ方を想像する。 	◎自分のことを描いた作品じゃないかな。 ◎鏡を見ながら描いたのかな。 ◎この目は誰の目のかな。 ◎目の中の人是谁かな。 ◎先生どうやって描いたの。 ◎先生この絵を描いた時どんな気分だったの。 ◎いつ描いた作品なの。 ◎学校に休みたくて描いた絵じゃないかな。	・『休みにする日』という題名をどのようにつけたか問い、授業者の題名のつけかたを想像すること、自分ならどのように題名をつけているかを主体的に考えることが出来る。 ・高校1年の時に描いた作品ということを伝えることで、自分たちと同じような環境で描いていたことを想像することが出来る。	5m
	2 今までに制作した作品に着けた題名はどのようにして決めたか想起する。	◎思いだせないなあ。 ◎特に考えていなかった。最初から決められていた。 ◎その時の感情で決めていたように思うなあ。 ◎作品で伝えたいものを題名にしていた。 ◎その時の気分を題名にしていたと思う。 ◎描いた具体的なものを題名にしていたよ。 ◎何も考えずにつけたな。 ◎～さんのつけ方、不思議。 ◎題名なんかどうでもいいんだよ。 ◎完成した作品の雰囲気を題名にした気がする。	・どのようなことを思い出したか発表するように促すことで、他者の意見から考え、より多くのことを思い出せるようにする。 ・「～さんと異なる事を思い出した人はいないか」と問うことで、より多くの生徒の題名のつけ方を知ることが出来る。 ・同じ人ばかりに発表させないことで、より多くの生徒の題名のつけ方を知ることが出来る。	5m
		学習問題：美術作品を鑑賞するとき、どのようなことを考えているのだろうか。		
		学習課題：美術作品の題名や、作家の思いを想像することで、どのような鑑賞する視点があるか考えてみよう。		

展 開	4 グループごとに異なった美術作品を鑑賞し、イメージを基に題名を想像する。 『大家族』 『水が与えてくれたもの』 『空間の中の鳥』	◎描かれているものがそのまま題名になっているものもあるのではないかな。 ◎描いた人がここにいないので分からない。 ◎自分の意見は間違っただけだから言いたくない。 ◎恥ずかしく発表しづらい。 ◎正解なんてないから好きなことが言える。 ◎他のグループよりも面白くしたい。 ◎本当の題名を当てたい。 ◎本当の題名を教えて。 ◎合っているのか分からないので発言できない。 ◎教科書に掲載されている情報を探す。 ◎他のグループの意見に興味を持つ。 ◎同じ作品を鑑賞しているのにも関わらず、様々な題名が予想されていて、不思議。 ◎予想した人物の性格が出るんじゃないかな ◎『鳥の中の雲』 ◎見たことがある。『大家族』 ◎お風呂から足が出ている。 ◎お風呂の絵は女の人が描いたんじゃないかな。 ◎金色のものはとんがってるね。	・3 作品を一作品ずつ時間を空けて配布することで、すべての作品に集中して取り組むことができる。 ・教科書は使わないと伝えることで、題名を想像することが出来る。 ・正解を当てることが目的ではないと伝えることで、間違えることを恐れずに発言できる。 ・おもしろいと思ったもの、本当の作品の題名にしたいと思ったものを、グループで一つずつ決めるよう促すことで、グループ活動でも意見をまとめることができる。 ・話し合いの仕方を提示することで、授業に等しく参加することができる。	20m
	5 他グループと想像した題名を発表し合い、なぜそのような題名になったのかを説明する。	◎私たちのグループでは、描いているものを題名にしていると思ったので、『鳥の中の雲』にしました。 ◎思いついた題名をつけた理由は、鑑賞した人が笑ってくれるといいなと思ったからです。 ◎自分たちの考えた題名と全然違うね。 ◎題名を考えた人の生活によると思うよ。 ◎の題名の意味が分からないな	・全体で発表するよう促すことで想像の視点は様々なものがあることを知ることができる。 ・発表された以外にも良いと思ったものがあるかを問うことで、より多くの視点を知ることができる。	10m
	6 作家の別の作品と題名を鑑賞し、その作家はどのようなことを考えていたかを想像する。 『デカルコマニー』 ルネ・マグリット 『人生万歳』 フリーダ・カーロ 『無限柱』 コンスタンティン・ブランクーシ 	◎何かわから無いけど同じような気がする。 ◎他の作品と見比べてみたい。 ◎シリーズみたいなのがあるのかな ◎何か作家の生き方が表れているから似てるんじゃないかな。 ◎もっと多くの作品を見てみたいな。 ◎この題名のつけ方とさっき鑑賞した題名のつけ方は似ているんじゃないかな。 ◎一つの作品だけでは、作家の考えていることは分からないな。 ◎解説を読んでみたいな。 ◎本物を見てみたいな。	・前に鑑賞した作品と似ている点を想像するよう促すことで、本時にとどまらず、別の作品も鑑賞してみたいと、意欲を持つことができる。 想像した内容を話し合い 共感することで、様々な視点を認めることができるようになったかどうか。	5m
ま と め	7 本時を振り返り、考えたことを個別にワークシートにまとめる。	◎題名を考えることは面白かった。 ◎作者がどのようなことを考えていたかは分からない作品もあり、その場合は想像したことも間違っただけなのだった。 ◎人によって見方が違うことが分かった。 ◎人によって感じ方が違うということは、鑑賞の際の視点も、一つではないと思った。 ◎自分の作品に題名をつける際に、今回自分たちが想像したように、自分の作品が想像されることを考えて、題名をつけてみたいと思った。 ◎今回したように、題名から鑑賞することもできるが、自分で他の鑑賞の視点を探してみたい。	・グループで考えたこと等を含めて、本時の振り返りをワークシートにまとめることで、本時の内容を整理することができる。 ・「本時では人によって異なる様々な意見が出ましたが、鑑賞の方法は題名を考えるものだけなのではないでしょうか。」と問うことで、鑑賞の方法は他にもあるのではないかと、考えることができる。	5m

6 板書計画

